

※本確認書は保護者が学校との連携において、対面では教員に本音を言いにくい等の心理的負担を軽減し、保護者と学校とのより良い連携の一助となるよう作成したものです。

サポート確認書

記入例

3 年 2 組

児童生徒名 草津 たび丸

保護者名 草津 はな子

令和7年 12月16日(火)

【記入方法】

- 各質問項目の、当てはまるところを☑チェック、または文章記述してください。
- 「今後の連携について」の部分は、保護者の希望をもとに学校が記載し、保護者と共有を図ります。

1. 出欠連絡の手段と頻度について、記入してください。

(1) 手段について

- 保護者から sigfy で連絡する
 保護者から電話をかける
 その他 (_____)

今後の連携について

1. (1)

- 希望どおり
 上記以外

1. (2)

- 希望どおり
 上記以外

(2) 頻度について

- 登校する日だけ保護者から学校に連絡する
 欠席する日だけ保護者から学校に連絡する
 毎日、出欠に関わらず、保護者から学校に連絡する
 その他 (_____)

2. 本人への登校に向けての働きかけ（電話連絡や家庭訪問等による学校から登校を促す行動）について、記入してください。

- 特段の配慮は必要ない
 本人の状況を鑑み、控える
 本人が希望するものだけ行う
(希望内容： 行事関係)
 その他 (_____)

2.

- 希望どおり
 上記以外

今後の連携について

3. 一人一台のタブレット端末について、記入してください。

- 学校に置いておき、必要に応じて持ち帰る
- 自宅に置いておき、必要に応じて学校へ持っていく
- その他 (_____)

4. 学校から家庭への連絡頻度・方法について、希望があれば、記入してください。

- ・概ね週1回程度、電話連絡をお願いしたい。
- ・授業プリントなどは保護者が学校に取りに行く。

5. その他、連携方法について相談したいことがあれば、記入してください。

- ・家庭訪問の際は、事前に母に連絡をいただきたい。

※子どもの気持ちや状況は変化していくことから、記載内容についての変更希望等が生じた場合は、学校に申し出てください。

※本確認書は「多様な学びプロジェクト」作成の「学校依頼文フォーマット」を参考に草津市教育委員会が作成しました。 <https://www.tayounamanabi.com/single-post/gakko-iraibun>